

令和7年  
2025年

7月3日  
木曜日

第11746号

# 食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日  
第三種郵便物認可

購読料 (前納)  
年間 82,080円  
(税込み)  
6か月 42,120円  
(税込み)

本紙は関連企業・団体との  
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】 株式会社食肉通信社  
https://www.shokuniku.co.jp/

東京支社  
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10  
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社  
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48  
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局  
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12  
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



ウルグアイのアルフレド・フラッティ農牧水産大臣(右)インタビュー……P2

## 注目のヘッドライン

ウルグアイのアルフレド・フラッティ農  
牧水産大臣インタビュー「ウルグアイ産  
牛肉の安全性を担保」

…詳細はP2

京都肉牛流推協が総会、事業計画など上  
程議案を全て原案どおり可決

…詳細はP6

- ▶ ウルグアイのアルフレド・フラッティ農牧水産大臣インタビュー「ウルグアイ産牛肉の安全性を担保」…… P 2
- ▶ [鶏肉調製品輸入5月]計4万3252tで6・1%増…… P 3
- ▶ [ソーセージ輸入5月]計2260tで3・1%増…… P 3
- ▶ [7月の相場見通し]豚肉…… P 4
- ▶ [7月の相場見通し]鶏肉、輸入内臓肉、素牛…… P 5
- ▶ 京都肉牛流推協が総会、事業計画など上程議案を全て原案どおり可決…… P 6
- ▶ [POSランク5月洋総菜製品]「イシイのおべんとクン」が首位…… P 6
- ▶ 豊橋飼料、定時株主総会・取締役会を開催…… P 6
- ▶ 中国農業展望報告(2025~34)を発表(牛肉編)…… P 7
- ▶ 【関東の輸入豚肉現物相場】Cは全体的に締まる、Fは荷余り感も…… P 8
- ▶ 【関東の国産豚肉現物相場】C、F共にバラ、カタロスにも引き合い…… P 8
- ▶ 日本包装技術協会が第14回定時総会を開催、大塚会長ら役員を選任…… P 8
- ▶ 洋総菜製品5月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次…… P 9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]2日…… P 10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]2日…… P 11

## 職人の技を次世代へ

新刊

改訂新版

牛枝肉・部分肉の  
分割と商品化

職人の技

カラー  
写真

丁寧な  
解説

B5判/216頁

定価 5,500円 (税込送料別)

食肉通信社

## ウルグアイのアルフレド・フラッティ農牧水産大臣インタビュー 「ウルグアイ産牛肉の安全性を担保」

このほど、大阪・関西万博でのナショナルデーイベントに合わせ、ウルグアイのアルフレド・フラッティ農牧水産大臣(写真右)が来日。ウルグアイ食肉協会(inac)のレオナルド・ボベ・メネンデス副会長(同左)とインタビューに応じた。ウルグアイ産牛肉の優位性、また、今後の日本のマーケットへの期待感などをきいた。

—今回の来日の目的について。

今回の来日については、2025年大阪・関西万博の枠組みの中で、6月17日に開催されたウルグアイのナショナルデーイベントへの参加が第1の目的であった。日本とウルグアイの両国で意見が一致する“持続可能性”や“環境保護”について皆さまに伝えることができた。

また、日本の農水副大臣を訪問し、われわれの農林水産分野に関する計画の進展状況や今後の見通しなどを共有し、意見交換を行うことで両国の農林水産分野に対する関係を深めることができた。

—ウルグアイ産の牛肉の特長や、他国との優位性について。

ウルグアイは輸出立国であり、主力品目の一つが牛肉である。わが国には、牛肉を専門とする輸出振興機関もあり、省として協力しながら安定的な供給を保証している。

また、他国との優位性について、ウルグアイ産の牛肉は1962年以降、ホルモン剤や抗生物質などの使用が禁止されており、さらに、トレーサビリティシステムも徹底されていることから、人だけでなく、牛にとっても健康的で、安全・安心なものであるといえる。

国土の大半はなだらかな丘陵地帯で、牧畜に適した土地が広がっている。わが国で飼育されている牛のほとんどが広大な牧草地で育てられているため、脂肪分が低く、健康に良い肉牛の生産が可能となる。

牧畜を行う際、森林を伐採する必要なく、牧草地を牧畜に転換でき、そのことは他国と違う点の一つだろう、

また、何十年にもわたり遺伝的な改良に力を注ぎ、



それに対する投資も行ってきたので、高いレベルの品種の生産を実現。このほか、広く自由な土地があることで、カーボンニュートラルを努力することなく達成できている。

—日本のマーケットに対しての期待感は。

日本に対しては期待が大きい。ウルグアイ産牛肉においては、日本はわが国にとって世界で5番目の輸出先国である。しかし、日本向け牛肉の輸出額は輸出全体の2%に過ぎない。

一方でタンについては、輸出の90%が日本市場向けとなっており、次に私たちが目指すのは、羊のタンの日本輸出だ。タンだけでなく、羊肉の市場の開拓も進めていきたい。

また、日本の食生活の最近の傾向として、若い人たちがレストランで健康的な牛肉を好んで食べるようになってきているので、レストラン向けの需要も期待している。

このほか、馬肉は日本向けのシェアが15%。正肉だけでなく、内臓などの部位の輸出も広げていきたい。

—今後日本でのプロモーションの予定について。

inacでも、食肉のマーケティングプランを計画している。その一環として、ウルグアイ産牛肉を使用する日本レストランで、ウルグアイ産であることをメニューに表記いただいている。

また、これまでも日本の見本市などに参加しているが、そのほかにも特別な機会があれば開拓していきたい。

## 【鶏肉調製品輸入5月】 計4万3252 tで6・1%増

5月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計4万3252 t (前年同月比6・1%増)と前年を上回った。前月からは54 t 減少した。国別ではタイが2万6836 t

(2・8%増)と増加。中国も1万5343 t (9・3%増)と増加した。そのほか韓国が43 t (34・1%減)、ブラジルが23 t (40・2%減)となった。

鶏肉調製品輸入の推移

単位：トン、( )内は前年比%

	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2022年計	192,373 (109.3)	326,751 (109.3)	1,925 (110.6)	1,028 (93.3)	117 (55.8)	33 (71.4)	525,762 (109.4)
2023年計	173,673 (90.3)	297,810 (91.1)	558 (29.0)	1,201 (116.8)	100 (85.5)	0 (-)	477,983 (90.9)
2024年計	187,156 (107.8)	307,850 (103.4)	490 (87.8)	1,081 (90.0)	57 (57.2)	- (-)	503,188 (105.3)
2024年5月	14,034 (113.5)	26,117 (115.2)	38 (99.6)	65 (206.2)	- (-)	- (-)	40,776 (115.0)
6月	15,546 (100.1)	26,467 (111.2)	19 (100.0)	23 (52.2)	14 (-)	- (-)	42,605 (107.2)
7月	19,023 (127.4)	27,823 (116.0)	94 (123.7)	33 (116.4)	- (-)	- (-)	47,452 (120.2)
8月	14,464 (99.9)	24,641 (96.7)	38 (100.0)	60 (165.2)	- (-)	- (-)	39,797 (98.6)
9月	16,795 (112.3)	22,519 (88.9)	56 (892.6)	65 (82.7)	14 (-)	- (-)	39,880 (97.7)
10月	17,078 (114.2)	29,949 (118.2)	76 (-)	135 (170.6)	- (-)	- (-)	47,902 (117.4)
11月	18,464 (117.7)	27,000 (96.5)	- (-)	119 (57.3)	14 (-)	- (-)	46,192 (104.1)
12月	17,440 (105.6)	27,278 (101.2)	19 (13.6)	209 (205.5)	- (-)	- (-)	45,580 (102.9)
2025年1月	13,978 (84.6)	23,775 (88.2)	38 (27.3)	109 (107.2)	- (-)	- (-)	38,628 (87.2)
2月	10,522 (79.5)	22,713 (104.6)	19 (24.7)	27 (29.1)	- (-)	- (-)	33,788 (94.7)
3月	16,674 (126.1)	25,989 (106.2)	99 (521.2)	32 (56.4)	14 (100.0)	- (-)	43,537 (113.6)
4月	16,940 (100.9)	25,048 (92.5)	19 (51.2)	38 (25.1)	- (-)	- (-)	43,306 (97.0)
5月	15,343 (109.3)	26,836 (102.8)	23 (59.8)	43 (65.9)	- (-)	- (-)	43,252 (106.1)

## 【ソーセージ輸入5月】 計2260 tで3・1%増

5月のソーセージ輸入通関実績は計2260 t (前年同月比3・1%増)で増加となり、前月比では466 t 減となった。国別ではブラジルが685 t (96・3%増)、

中国が528 t (13・8%増)と前年を上回ったが、米国は521 t (19・5%減)、タイは366 t (27・1%減)、デンマークは14 t (89・2%減)で大きく減少した。

ソーセージ輸入量の推移

単位：トン、カッコ内前年比%

	中国	タイ	米国	ブラジル	デンマーク	合計
2022年計	5,610 (91.7)	7,066 (106.9)	6,321 (88.3)	6,422 (174.6)	1,347 (114.3)	28,444 (106.2)
2023年計	5,104 (91.0)	6,721 (95.1)	6,470 (102.4)	4,544 (70.8)	1,230 (91.3)	25,580 (89.9)
2024年計	5,162 (101.1)	5,975 (88.9)	6,637 (102.6)	5,730 (126.1)	1,197 (97.3)	26,196 (102.4)
2024年5月	464 (132.2)	502 (132.8)	647 (143.8)	349 (94.3)	134 (108.1)	2,192 (125.2)
6月	401 (96.9)	490 (76.8)	632 (102.9)	516 (113.9)	72 (64.9)	2,232 (93.0)
7月	439 (108.7)	577 (91.0)	619 (106.4)	432 (84.9)	160 (118.5)	2,404 (101.2)
8月	474 (92.8)	451 (89.5)	493 (60.8)	629 (147.7)	133 (102.3)	2,351 (92.4)
9月	468 (100.9)	499 (88.0)	450 (88.8)	516 (145.4)	83 (180.4)	2,104 (101.7)
10月	400 (75.2)	634 (110.5)	490 (88.9)	692 (163.6)	37 (63.8)	2,384 (106.8)
11月	491 (130.2)	400 (71.7)	570 (113.1)	663 (235.9)	101 (69.7)	2,325 (114.8)
12月	567 (115.7)	396 (61.1)	677 (104.6)	383 (123.2)	166 (190.8)	2,343 (102.3)
2025年1月	576 (169.9)	357 (79.7)	389 (113.7)	422 (140.2)	112 (533.3)	1,990 (128.3)
2月	296 (83.2)	488 (87.9)	381 (90.0)	643 (197.7)	126 (212.5)	2,036 (114.0)
3月	516 (147.6)	570 (112.5)	647 (125.0)	842 (206.9)	54 (70.4)	2,772 (139.6)
4月	557 (134.7)	514 (99.6)	644 (83.1)	776 (150.1)	65 (41.7)	2,726 (107.4)
5月	528 (113.8)	366 (72.9)	521 (80.5)	685 (196.3)	14 (10.8)	2,260 (103.1)

## 【7月の相場見通し】豚肉

### 【豚枝肉】頭数減で高値継続、800円絡みか

【東京】6月は、各地で真夏日を記録するなど、全国的に気温が上昇。例年同様、夏場を前にして全国的に出荷頭数は減少傾向となっており、全国と畜頭数は5万頭台前半となる日もみられた。

一方で需要の端境期であり、加えて物価高が続く中で節約思考も根強い。末端消費自体は鈍いものの、頭数の少なさから高値相場が継続した。一時は上物価格が800円を上回る日が続き、その後はやや軟調な展開となったものの、基本的には700円台後半から800円台で推移している。

農水省の肉豚生産出荷予測(6月23日発表)によると、7月は130万3千頭と前年同月比で微減、平年比では微増を予測している。引き続き全国的に出荷頭数は決して多くはないとみられ、需給は締まった展開となり、高値が継続するか。

【大阪】国産豚枝肉相場は全国的に高止まりしている。これから夏にかけてさらに気温が上昇し、肉豚の増体が悪化することを考えれば、この先の枝肉価格は上がることはあっても、おそらく下がることはないと思われる。増体の伸び悩みのピークは暑さに合わせて7~9月に来る。この先、輸入ポークの調達難もまだ続くこととみられることから、一段高となる可能性も十分にあるだろう。

【福岡】生活必需品の価格上昇で消費者の節約志向が強まる中、豚枝肉相場は例年同様、品薄への懸念を背景に強気に推移する。九州では昨夏の種付け不良や断続的な疾病の発生などを受け、出荷適齢豚の成育状況の悪さを指摘する声も。7月も実需は精彩を欠くものの、需給は引き締まり相場の気配は強い。月平均は700円台後半との見方が大勢で、上場頭数次第で品薄感が強まれば、さらに上値を追うか。

### 【国産豚部分肉】中部位に動き出るか、スソ物中心は変わらず

【関東】例年同様、出荷頭数の減少に伴って枝肉相場は高値で推移しているが、梅雨時の低需要期であり、末端消費自体は鈍い。節約志向が強い中、ウデ

やモモなどスソ物が荷動きの中心であり、7月に入ってもその傾向は続きそうだ。

一方で7月下旬からは夏休みを控えており、バラやカタロース、さらにロイン系などの引き合いが増える可能性もありそうだ。バーベキューや行楽需要増加により、中部位の荷動き良化にも期待がかかる。また、スペアリブ等のアイテムも堅調な荷動きが継続しそうだ。冷凍品についても基本的にはスソ物中心の荷動きが継続するか。

【関西】昨年よりも猛暑日が早まっている傾向で、その影響もあり出荷頭数は減少傾向。相場は高値圏での推移となっている。ただ、現時点では需要の端境期であり、動きはウデ、モモといったスソ物が中心。ロースなど中部位は輸入ポークに押されて、やや荷余り感も。

半面、量販店では涼味商材として豚の冷しゃぶなどを積極的に提案。そのため、バラ、カタロースの引き合いは堅調で、相場も強もちあい。夏場にかけて頭数減の傾向は強まってくると想定され、需給も逼迫感が強まることが想定される。輸入物次第ではあるが、ジリ高傾向は続くか。

### 【輸入豚肉】代替需要増加で堅調、Cは全体的に引き合い強い

国内では年間を通じて最も出荷頭数が減る時期であり、国産相場は高値で推移。そのため、輸入ポークへ需要がシフトするケースが散見される。7月も国産相場の高値は継続する見込みであり、引き続き輸入チルドポークへの引き合いは強いものがある。量販店などでは涼味商材として、豚しゃぶ用のベリーやロインの提案も増えそう。スソ物も含め、全体的に堅調な荷動きが続くか。

フローズンポークは需要の端境期であった6月は外食需要などに一服感があり、全体的に荷動きは鈍かった。在庫水準も比較的高く、需給は緩んだ。7月は下旬から夏休みを控え、外食需要の増加なども期待される。また、価格訴求として量販店などからの解凍スライス商材の需要は引き続き堅調か。

**【7月の相場見通し】鶏肉、輸入内臓肉、素牛****【国産鶏肉】生鮮モモ820円前後か、需要高まりムネは堅調**

例年の傾向として、生鮮モモは8月旧盆中に工場の稼働状況などから物量的にタイトとなり、また夏休みや帰省などで家庭での調理機会が増加することからやや値を上げる。このため、生鮮モモは7月が年間を通じて最も需要の弱い時期となる。

月間を通じて軟調な値動きが予想されるが、生産コストの高止まり、消費者の節約志向なども背景に、下げ幅は例年よりも緩やかなものとなる。下旬に日経荷重平均の東京相場で820円前後となろう。

生鮮ムネは涼味商材としての需要がさらに高まることで堅調な値動きが予測される。

冷凍物は弱もちあいでの値動きが予想される。

**【輸入鶏肉】ブラ産強気に、国内は弱基調**

高病原性鳥インフルエンザの発生から多くの国がブラジル全土からの輸入を停止していたが、日本は発生した市からの輸入停止にとどまっている。韓国などが6月中旬に輸入制限の緩和に踏み切ったこと等から、ブラジル現地オファーは強気に転じている。

一方で日本国内は輸入鶏肉の需要の弱い真夏に向かうこと、また、輸入豚肉の入荷増により、庫腹確保のための売りが大勢であることから、ブラジル産、タイ産共におおむね弱もちあいでの値動きが予測される。

**【輸入内臓肉】全体的に需給タイト、焼き材は高値圏で推移**

今年の梅雨は例年よりも降雨量が少ないといわれているが、実需は低調な動きが続いている。ただ、実需の盛り上がりはともかく、早めの手当てに動く企業も散見され、相場は高値圏でのもちあいが続く。これは気候的な問題もそうだが、緊迫感を増すイランとイスラエルの情勢が物流に及ぼすリスクを懸念し、一部の大手卸が早めの手当てに動いているという話もあり、そうした動きも一因となっているようだ。

個別では、アウトサイドスカートやハンギングテンダーなどの主要焼き材は、ゴールデンウィーク以降、極力在庫を持たないという動きもあり、市中の荷余り感は少ない。旧盆商戦の一大需要期までは、焼き材

中心に一段高が見込まれる。

白物はオフシーズンだが、畜産物で値頃感あるアイテムが減っている中で、焼き材・つまみ需要の加工商材として使いやすく、引き合いは強い。

**【素牛】和牛は小幅安が濃厚、品薄の乳牛は一段高も**

【和子牛】6月19日公表の市場成績(全農、速報)は全国平均(税込み、雌・去勢を含む)が5月終値から1万400円安の約66万2千円(下旬を除く)と下落した。全国的に出荷頭数は減少傾向にあるが、導入の閑散期入りと枝肉相場の低迷で価格は伸び悩んだ。性別では雌が1万2千円安の59万5千円、去勢は1千円安の71万5千円。騰落状況は前日までに取引を終えた35市場のうち6割弱が5月水準を下回った。大産地では北海道が続落し、南九州は家畜市場別に基調はまちまちだが、上場頭数の減少や偶数月で開市が少なく5月から総じてもちあった。

7月も牛肉需要の低迷に加え、導入の閑散期が続く、肥育業者らの積極的な買いは期待薄で続落気配が濃厚か。全国平均は去勢で70万~72万円、雌は59万~60万円とみる。

【乳子牛】6月は全国的に気温も高く天候が良かったため、例年と比較しても外食需要にはさほど影響がなかったことや、輸入ビーフの高騰による代替需要から乳牛去勢枝肉相場は強もちあいの展開となった。素牛集荷については全国的に上場頭数が減少する中、引き合いが強まったことから上げで推移した。また、北海道主要7市場における乳雄初生牛の取引概況は、依然として素牛不足が続いているため、強もちあいで推移した。

7月は梅雨明けの時期によって需要が左右されるとみられるが、夏期の需要期を前に業務用卸の荷動きが活発になると思われ、枝肉相場は上げの展開も想定される。素牛価格については、素牛および初生相場の上場頭数がさらに減少するとみられることから高値で推移すると思われる。北海道における初生ホル雄の取引価格は、強含みの展開か。交雑種は雌37万円前後、去勢41万円前後の展開が見込まれる。

## 京都肉牛流通推協が総会、事業計画など上程議案を全て原案どおり可決

京都肉牛流通推進協議会(大西雷三会長)は6月30日、京都市中京区の三嶋亭本店で2025年度総会を開催。本年度の事業計画など上程議案を全て原案どおり可決した。

冒頭、大西会長が「諸物価の高騰や人手不足、和牛の販売不振など、われわれ業界を取り巻く環境は厳しいが、昨年10月に開催された第9回京都肉祭では過去最高となる3万人の来場があった。市民に安全で高品質な食肉を供給する祭りとして認知度が高まっている証しだと思う。また、近年は近畿東海北陸連合肉牛共進会でも毎年のように京都府産の牛肉が上位入賞し、全国に品質の高さが認められている。さらに海外輸出も年々増加し世界での評価も高まっている。この素晴らしい肥育技術を持った生産者の方々を守っていくのが、われわれの使命。今後も『京都肉』のブランド浸透や販促を積極的に行ってまいりたい」とあいさつ。

来賓では近畿農政局生産部畜産課の飛瀬勲課長、京都府農林水産部の小瀬康行部長、京都市中央卸売市場第二市場の船橋律夫場長がそれぞれの



立場から祝辞を贈った。

出席者紹介に続いて議案審議に移行。24年度事業報告および収支決算、25年度事業計画および収支予算、その他について審議し、いずれも原案通り承認された。25年度事業では、協議会組織の強化(京都肉牛流通推進協議会開催、京都肉懇談会開催)、京都肉牛枝肉共進会・京都肉研修会の開催(各6回)、京都府産肉の消費促進(京都肉ブランド普及、宣伝活動)、京都肉出荷促進活動、その他に取り組む。

## 【POSランク5月洋総菜製品】「イシイのおべんとクン」が首位

(株)KSP—SPが全国食品スーパーマーケットから独自に収集した5月POS/洋総菜製品売れ筋ランキングによると、石井食品「イシイのおべんとクン ミートボール」(120g×2)が首位だった。

2位は伊藤ハム「ピザガーデンマルゲリータ1P」、

3位は日本ハム「とろける4種チーズハンバーグ」、4位は日本ハム「石窯工房マルゲリータミニピザ」、5位はマルシンフーズ「マルシンハンバーグ3P」(75g×3)だった。対象店舗1043店舗の総販売金額は5億751万5062円。

## 豊橋飼料、定時株主総会・取締役会を開催

豊橋飼料(株)は6月24日に定時株主総会ならびに取締役会を開催。次の通り、新体制を決定した。なお、石田渉取締役は本総会で退任した。

代表取締役社長 平野正規▽取締役姫路工場(姫路工場長兼務)担当・九州支店担当 長田淳、同豊橋工場(豊橋工場長兼務)担当 九島直樹、同

テクニカルセンター(家畜診療指導室)担当・種豚センター担当 福田菊人、同テクニカルセンター(飼料開発室)担当・生産安全部担当 中嶋真一、同千葉工場(千葉工場長兼務)担当 金吉弘幸、同総合企画部担当・営業企画部担当 鈴木基司(新任)▽監査役 白井久夫

## 中国農業展望報告(2025～34)を発表(牛肉編)

中国農業農村部はこのほど、中国農業展望大会を開催し、今後10年間の農業を展望する「中国農業展望報告(2025～34)」を発表した。同大会は14年から毎年開催されており、今回は24年の総括と34年までの農畜水産物の生産量や消費量の見通しが報告された。本稿では同報告のうち、牛肉について紹介する。

24年の生産量は、1頭当たり枝肉重量(152・8kg、前年比1・9%増)と出荷頭数(5099万頭、1・5%増)の増加から、779万t(3・5%増)とやや増加した。

輸入量は、287万t(4・7%増)とやや増加した。この要因について農業農村部は、国内需要の増加や世界的な供給量の増加を受けた輸入価格の下落などを挙げている。

消費量は、中国国内の消費市場の持続的な成長を受け、1066万t(3・8%増)とやや増加した。消費の特徴として、火鍋などの鍋物が引き続き消費の中心ではあるが、味付け肉やジャーキー、肉巻きなどの加工品消費も増加しており、預製菜の開発が進み、牛肉商品が充実していることが挙げられている。また牛肉小売価格は、牛肉生産量の増加や輸入価格の下落などの影響を受け、年間を通して下落傾向で推移し、年間平均価格はキロ当たり71・95元(1461円、14・6%安)とかなり大きく下落した。

25年の生産量は、24年の牛肉価格の低下などを受けて多くの肉用牛農家が廃業したことなどから、750万t(前年比3・7%減)とやや減少すると予測されている。

輸入量は①国内の牛肉価格の低下により輸入牛肉の価格優位性が低下していることに加え②中国商

務省による輸入牛肉に対するセーフガード措置の実施に関する調査の影響や③中国政府による米国産牛肉に対する追加関税措置の影響などにより、170万t(40・8%減)と大幅な減少が予測されている。

消費量は、人口に占める中間層の割合の伸びが鈍化し、豚肉や鶏肉に比べて割高な牛肉の消費需要が弱まることで、1人当たり牛肉消費量の減少(13・7%減の6・54kg)から、920万t(13・7%減)とかなり大きく減少と予測されている。また牛肉小売価格は、国内の牛肉生産量の減少と牛肉輸入量の減少を受けて下げ止まり、年間平均価格はキロ当たり72～74元での推移が予測されている。

生産量は、品種改良や専業化・大規模化の進展、繁殖効率の向上などから徐々に増加し、34年には820万t(基準期間比〈22～24年の平均値からの増減率〉9・3%増)とかなりの程度増加が予測されている。

輸入量は、牛肉の国内生産量増加に伴い、輸入が徐々に鈍化することで、34年は228万t(17・4%減)と大幅な減少が予測されている。

消費量は、国民の所得水準向上から消費意欲が徐々に回復し、高品質な動物性タンパク質としての牛肉の需要が回復することで、34年には1048万t(2・1%増)とわずかな増加が予測されている。

また牛肉小売価格は、品種改良や専業化・大規模化の進展、繁殖効率の向上などが進展している一方で、土地や水資源の制約と、飼料やその他の生産資材の高騰などで生産コストが引き続き高止まりすることから、緩やかな上昇傾向での推移が予測されている。(農畜産業振興機構)

## フランス産牛由来製品等について輸入一時停止措置講じる—農水省

農水省は1日、フランス産牛由来製品等について輸入一時停止措置を講じた。

フランスのサヴォワ県の牛において、ランピースキン病の発生が確認された旨、フランス家畜衛生当局から国際獣疫事務局(WOAH)への通報があり、こ

れを受け、わが国への侵入防止に万全を期すため、フランス産牛由来製品等(牛精液、牛受精卵、牛臓器製品、飼料用に供する偶蹄類動物由来の乳製品。なお、加熱処理が確認されたものを除く)について輸入を一時停止した。

## 【関東の輸入豚肉現物相場】Cは全体的に締まる、Fは荷余り感も

【フローズン】高騰する国産物から輸入物へとシフトするケースも増えているが、梅雨時で外食需要なども盛り上がり欠ける時期であり、全体的に荷動きはいまひとつ。荷動きが鈍い反面、在庫水準は依然として高く、一部では荷余り感もみられる。一方で消費者の節約志向が強い中、豚しゃぶ用の提案などに解凍スライス商材の訴求なども増えている。

【チルド】国内で出荷頭数が減少しており、国産相場はさらに上昇。代替需要が増加しており、売り場では輸入物中心の品ぞろえにするケースも散見される。一方で入船遅れの影響などもあり、引き続きベリーやスソ物を中心に需給は締まっている。

【輸入豚肉現物相場】(関東仲間冷蔵庫渡し)

キロ/円、税抜き

	輸入元	部位	相場	気配
フローズン	米国産	クッションミート	730中心	→
		テンダーロイン	840中心	→
	カナダ産	ショート・ボックス	780中心	→
		ウデ	760中心	→
		モモ	760中心	→
	デンマーク産	ベリー	940中心	→
		カラー	880中心	→
		ロインMM	860中心	→
		テンダーロイン	860中心	→
	フランス産	シートベリー	930中心	→
カタロース		880中心	→	
チルド	米国産	ロイン(FLOIN)	770中心	→
		CCロイン	770中心	→
		テンダーロイン	1,050中心	→
		山付ベリー	1,230中心	→
	カナダ産	ボックス	820中心	→
		テンダーロイン ベリー	1,080中心 1,150中心	→ →

## 【関東の国産豚肉現物相場】C、F共にバラ、カタロースにも引き合い

今週に入り、上物価格が900円台目前を付けるなど、枝肉相場は急上昇。関東地方はまだ梅雨明けこそしていないものの、連日30℃を大きく上回る酷暑が続いており、出荷頭数は低調に推移している。末端需要自体は依然としてそれほど旺盛ではなく、安価なアイテムの引き合いが強い。荷動きはウデやモモといったスソ物が中心だが、バラやカタロースといったアイテムにも引き合いがみられる。ロイン系の荷動きはやや鈍い。

フローズンもチルド同様に引き続きスソ物が荷動きの中心となっている。今月下旬からは夏休みで学校給食が止まるが、底堅い荷動きが

継続するか。また、夏休みに向けてバーベキュー商材などの需要増加もあり、バラやカタロースにもそれなりに引き合いがみられる。ロースはまだ鈍いが、スペアリブなどは動いている。

関東の国産豚カット肉相場

円/キロ

生鮮物		冷凍物	
部位	相場	部位	相場
カタロース	1,000~1,080	カタロース	930~960
ウデ	800~850	ウデ	700~730
ロース	980~1,030	ロース	900~950
バラ	1,050~1,150	バラ	980~1,000
モモ	800~850	モモ	720~750
ヒレ	980~1,030	ヒレ	900~950

## 日本包装技術協会が第14回定時総会を開催、大塚会長ら役員を選任

公益社団法人日本包装技術協会はこのほど第14回定時総会および第2回理事会を開催。大塚一男会長(東洋製罐グループホールディングス(株)取締役会長)ら再任した。同会の主な役員体制は次のとおり。

会長 大塚一男▽副会長 大坪清(レンゴー(株))、猪野薫(DIC(株))、藤崎三郎助(東北百貨店協会)▽専務理事 園山洋一(日本包装技術協会)

# 洋総菜製品5月 POS売れ筋品目 ベストランキング月次

出典:KSP-POS 地区:全国、業態:全国食品スーパーマーケット、期間:2025年5月 対象店舗数:1,043店舗 品目合計:5億751万5,062円

順位	メーカー名 / アイテム名	金額	数量	平均価格	金額シェア	数量シェア	販売店率
1	石井食品 イシイのおべんとクン ミートボール 120g×2	21,295,014	77,749	273.9	4.2	3.7	45.5
2	伊藤ハム ピザガーデンマルゲリータ 1P	13,451,054	59,868	224.7	2.7	2.8	54.4
3	日本ハム とろける4種チーズハンバーグ 246g	13,106,923	44,102	297.2	2.6	2.1	81.8
4	日本ハム 石窯工房 マルゲリータミニピザ	12,645,022	44,176	286.2	2.5	2.1	74.5
5	マルシンフーズ マルシンハンバーグ 3P 75g×3	11,408,916	44,147	258.4	2.3	2.1	50.0
6	日本ハム 石窯工房 あら挽きソーセージ 3枚	11,189,389	39,546	283.0	2.2	1.9	77.6
7	日本ハム 石窯工房 マルゲリータ	10,895,951	42,056	259.1	2.2	2.0	59.4
8	伊藤ハム ピザガーデンベーコン 1P	9,143,819	41,067	222.7	1.8	1.9	54.3
9	シジシージャパン Vパック チキンナゲット 350g	8,553,909	29,190	293.0	1.7	1.4	30.7
10	日本ハム チキチキポーン 124g	7,712,360	27,704	278.4	1.5	1.3	59.4
11	丸大食品 お弁当てりやきミートボール 70g×3	7,479,003	38,535	194.1	1.5	1.8	52.4
12	日本ハム 石窯工房シャウエッセンピザ	6,134,410	23,398	262.2	1.2	1.1	53.9
13	日本ハム 厚切りピッツアブレッド 4枚	5,828,248	19,560	298.0	1.2	0.9	51.5
14	石井食品 イシイのおべんとクン ミートボール 120g	5,803,890	38,579	150.4	1.1	1.8	48.3
15	伊藤ハム ラビッツァ マルゲリータ 1枚	5,656,995	20,440	276.8	1.1	1.0	29.5
16	イオントップバリュ ベストプライス チキンナゲット 180g	5,571,225	19,390	287.3	1.1	0.9	12.6
17	伊藤ハム ピザガーデンチーズ 1P	5,460,285	24,570	222.2	1.1	1.2	38.4
18	日本ハム 石窯工房 4種のチーズピザ	5,179,910	20,743	249.7	1.0	1.0	44.4
19	伊藤ハム ラビッツァグランドアルトバイエルン 1枚	5,121,097	19,193	266.8	1.0	0.9	40.2
20	伊藤ハム 鉄板焼きハンバーグ2個入り 120g	5,075,942	14,576	348.2	1.0	0.7	44.0
21	日本ハム マルゲリータピザ	5,013,086	23,250	215.6	1.0	1.1	33.6
22	丸大食品 チキンハンバーグ 69g×3	5,009,419	23,873	209.8	1.0	1.1	74.4
23	マルシンフーズ お買得ハンバーグ 75g×4	4,827,101	14,230	339.2	1.0	0.7	14.4
24	石井食品 ミートボール 120g×3	4,797,408	12,463	384.9	1.0	0.6	11.5
25	プリマハム スパイシーチキン 260g	4,460,884	16,320	273.3	0.9	0.8	53.0
26	日本ハム うずら卵を包んだ肉だんご 204g	4,356,674	14,395	302.7	0.9	0.7	66.3
27	滝沢ハム デミグラス味ハンバーグ 150g	4,230,978	41,913	101.0	0.8	2.0	42.7
28	日本ハム シャロウワズ 124g×2	4,184,893	14,727	284.2	0.8	0.7	48.5
29	日本ハム 極み焼和風おろしハンバーグ 220g	4,067,241	13,983	290.9	0.8	0.7	49.3
30	丸大食品 楽しいお弁当ミートボール 65g×3	4,059,305	20,620	196.9	0.8	1.0	48.1
31	日本ハム 極み焼デミグラスハンバーグ 220g	4,014,266	13,737	292.2	0.8	0.7	47.8
32	伊藤ハム ピザガーデン てりやきチキン 1枚	3,977,405	18,566	214.2	0.8	0.9	37.1
33	日本ハム ふんわり生地のアメリカンドッグ6本入 300g	3,961,200	13,525	292.9	0.8	0.6	50.9
34	丸大食品 チキンナゲット 260g	3,925,625	14,229	275.9	0.8	0.7	20.5
35	日本ハム チキチキポーン 165g	3,844,655	11,191	343.6	0.8	0.5	20.7
36	マルシンフーズ ハンバーグ 75g	3,835,078	36,768	104.3	0.8	1.7	43.8
37	シジシージャパン ナン 95g×2	3,813,075	19,220	198.4	0.8	0.9	29.6
38	日本ハム ソーセージピザ	3,808,694	18,880	201.7	0.8	0.9	31.5
39	シジシージャパン Vパックデミグラスハンバーグ R 120g	3,802,247	13,428	283.2	0.8	0.6	28.6
40	日本ハム 石窯工房 ドルチェポルコベーコンピザ	3,687,768	14,708	250.7	0.7	0.7	33.3
41	日本ハム ナードッグチーズ&カレー 1個	3,683,284	36,875	99.9	0.7	1.7	33.8
42	伊藤ハム 旨包デミグラスソースハンバーグ 220g	3,629,398	10,452	347.2	0.7	0.5	41.0
43	イオントップバリュ トップバリュ ミートボールテリヤキソース96g×3	3,524,885	14,625	241.0	0.7	0.7	9.8
44	滝沢ハム チーズデミグラスハンバーグ 150g	3,511,166	35,169	99.8	0.7	1.7	38.1
45	シジシージャパン Vパック和風おろしハンバーグ R 110g	3,510,594	12,445	282.1	0.7	0.6	28.0
46	伊藤ハム コロコロチキン 120g	3,454,207	13,457	256.7	0.7	0.6	54.8
47	日本ハム パーソナルスナック ハム&チーズ	3,214,276	31,986	100.5	0.6	1.5	29.7
48	イオントップバリュ グリーンアイ タスマニアハンバーグ 2個 280g	3,149,612	5,121	615.0	0.6	0.2	6.3
49	日本ハム 照焼ミートボール 95g×3	3,039,963	10,496	289.6	0.6	0.5	14.5
50	日本ハム ナードッグとろけるチーズ&カレー 3個	3,004,607	10,489	286.5	0.6	0.5	41.6

# 東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 7月2日  
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A 114頭	高値	3,358	2,487	2,011	-	-
		安値	2,052	1,967	1,875	-	-
		平均	2,574	2,169	1,951	1,784	-
	雌 B 1頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	1,135	-
	去 A 180頭	高値	3,033	2,419	2,154	1,826	-
		安値	2,076	1,944	1,706	1,243	-
		平均	2,444	2,110	1,945	1,565	-
	去 B 3頭	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	1,747	1,777	1,194	-
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B 16頭	平均	1,581	1,661	1,580	1,389	
		頭数	1	1	11	3	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
		頭数	-	-	-	-	
去 B 7頭	平均	-	1,522	1,618	1,511		
	頭数	-	1	1	5		
去 C -頭	平均	-	-	-	-		
	頭数	-	-	-	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	385 393	607 603	- 300.5	(競り)	(相対)	60

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,225	1,983	1,497	1,409	-
	B	-	-	1,322	1,367	1,241
和 去	A	2,379	2,037	1,869	1,725	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,039	1,038
	C	-	-	-	1,033	952
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,655	1,537	1,318	1,003
	C	-	-	1,402	984	921
交 去	B	-	1,817	1,625	1,406	1,003
	C	-	-	1,435	1,321	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	961	973	950	910	841
	安値	903	866	799	432	86
	平均	943	897	866	813	530
	頭数	( 4)	( 176)	( 212)	( 106)	( 105)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数		( -)	( -)	( -)	( -)	( -)

[大阪食肉卸売市場] 7月2日  
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [ ] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	-	2,060	1,921	-	-
(頭数)	( 1)	( 6)	( 1)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( 1)	( -)	( -)	( -)
和 去 A	2,366	-	1,902	-	-
(頭数)	( 3)	( -)	( 1)	( -)	( -)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	( -)	( -)	( -)	( -)	( -)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,620	1,654	-	-
C	-	-	1,531	-	-
交雑去 B	-	1,644	1,571	-	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	832	817	790	588

[全国と畜概算頭数]  
農水省統計部発表 (頭)

	7月2日	7月1日	(7月累計)
豚	39,400	62,300	101,700
成牛計	3,570	4,110	7,680
和牛雌	880	1,030	1,910
和牛去勢	770	1,140	1,910
乳牛雌	520	590	1,110
乳牛去勢	470	530	1,000
交雑雌	450	380	830
交雑去	480	430	910

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 7月2日

	1,510円	(前日 1,551円)
東京		
大阪	1,571円	(前日 1,604円)

[豚・全農建値] 7月2日

上	中	取引頭数	市況
896円	870円	958頭	弱もちあい

と畜 売買	牛 55頭 豚 25頭	豚 48頭 豚 82頭	牛概況 豚概況	もちあい まぢまち
----------	----------------	----------------	------------	--------------

# 各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 7月2日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	767 (745)	- (-)	5,456	-	上伸
仙台 [中]	765 (704)	698 (652)	463	12	反発
栃木 [地]	- (-)	- (-)	1,503	17	-
茨城 [地]	907 (864)	869 (826)	815	398	続伸
群馬 [地]	914 (911)	794 (803)	1,771	177	小幅続伸
さいたま [中]	895 (945)	882 (906)	122	121	急反落
東京 [中]	897 (898)	866 (888)	607	603	もちあい
横浜 [中]	896 (861)	863 (841)	590	610	続伸
山梨 [地]	894 (887)	880 (856)	142	104	品薄高
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	843 (821)	809 (773)	725	140	続伸
京都 [中]	- (807)	- (748)	-	-	休市
大阪 [中]	832 (-)	817 (-)	48	63	まちまち
神戸 [中]	- (778)	- (776)	125	-	上場なし
岡山 [地]	671 (727)	654 (731)	287	258	暴落
広島 [中]	798 (799)	758 (766)	150	47	もちあい
福岡 [中]	792 (775)	754 (741)	286	198	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 6月25日～7月1日  
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,675,889 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,220	1,356	1,382	1,339	78,684
うで	870	940	977	942	122,909
ロース	1,145	1,269	1,348	1,247	158,189
ばら	1,263	1,350	1,423	1,356	170,023
もも	842	875	951	887	165,222
ヒレ	1,134	1,321	1,440	1,283	16,348
セット	1,090	1,106	1,147	1,112	964,514

◇近畿圏 総重量 689,464 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,282	1,421	1,509	1,414	57,623
うで	799	867	903	863	113,052
ロース	1,209	1,287	1,308	1,273	100,225
ばら	1,299	1,353	1,435	1,373	117,928
もも	853	897	950	895	149,216
ヒレ	1,242	1,327	1,468	1,340	9,897
セット	1,037	1,157	1,255	1,160	141,523

[食鳥正肉日経相場] 7月1日  
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	734	795	1,010	180
ムネ	481	519	683	183

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	743	803	1,030	5
ムネ	488	531	623	4

[農水省統計情報部食鳥市況] 7月1日  
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1日分は4日掲載				
安値					
平均					

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

# 食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

### ■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

### ■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

### ◆食肉販売&経営関連

## 銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

## 銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

### ◆イベント

#### ■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



## 食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで  
お近くの食肉通信社まで

# 株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

## 週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクカット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

## 日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

## 月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

### ◆教材&レポート等

#### ■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男  
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

#### ■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

#### ■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

#### ■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

### ◆ステーションリー

## 食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します